

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 24 年度第 4 回大学情報システム研究委員会議事記録

- I. 日 時：平成 25 年 3 月 19 日(火)午後 5 時～午後 7 時
- II. 場 所：私立大学情報教育協会事務局会議室
- III. 参加者：山崎委員、浜委員、鈴木委員、田胡委員、島貫委員
日本電気、伊藤忠テクノソリューションズ[®]、富士通
事務局：井端事務局長、森下主幹、野本

IV. 検討事項

0. 本日の議事進行については、深澤委員長から山崎委員と浜委員に議長代理の指名があり、両委員の進行で議事がとり行なわれた。
1. クラウド導入効果の検証の報告書とりまとめについて
- ・ 報告書の章立てについて、全体は「大学情報システムの再構築」として、第 1 章は「クラウドコンピューティングによる大学の情報システムについて」、第 2 章を「クラウド導入効果の検証」、第 3 章を「大学情報システムのリスクマネジメント」にしてとりまとめることにした。
 - ・ 今回まとめた内容から、事例の表現はモデルにする。
 - ・ 用語について、SaaS など専門用語はなるべく分かりやすい表現に切り替える。
 - ・ どういう導入モデルが大学にとって価値のあるものか、こういう使い方の場合はこのクラウドでのような整理が出来ないかの意見があった。分かってもらいたいことを上手く整理できないか。
 - ・ 導入の目的のリストから、こういう目的なら効果があるなどの結論を入れることはできないか。
 - ・ モデル（事例）の順番は検討する（4 と 5 を入れ替える）。
 - ・ 回答詳細の表が分かりにくい意見があったが、外すと本文の説明を増やす必要があるため、表はモデルのみで、項目の順番及び内容を整理して掲載することにした。
 - ・ 移行の注意ポイントがあれば掲載をしたい。
2. 大学情報システムのリスクマネジメントの報告とりまとめについて
- ・ バックアップの部分で、外部データセンターと大学間は順序を入れ替える、統合整理するなど内容から更新を行う、あわせて、電源部分の記述が必要か再判断し、○番号以下は削除してはどうか。
 - ・ バックアップ、リカバリーの権限者、外部に出すことを BCP 対策として決定するなどが指針として示されている。
 - ・ 災害時の DNS 切替については追加でフローチャートを考えている。
 - ・ 業務分析ワークシートは、目標復旧レベルの重大性はここまで細かくなくても良いか、その他項目については表の下に説明を入れる。
 - ・ 災害対策の表現は震災対策に、事業継続は大きな災害対策に置き換えを検討する。
 - ・ マネジメントの部分で、計画をしましょう、考えましょうと促す提言とすること、マネジメント計画として検討することが必要とする。
 - ・ 緊急体制の図、模擬訓練などを追加検討する。
- V. 今後の予定
- ・ 今回の検討内容を反映させ、4 月末を目途に報告書として完成させる。